

令和5年第2回亀岡市議会定例会6月議会一般質問

亀岡市議会

令和5年第2回亀岡市議会定例会6月議会 一般質問順序予定表

開催日及び開始予定時間		質問者		質問方式	
6月19日(月)	10:00～	個人	1 松山 雅行	一問一答	
	10:45～		2 平本 英久	一問一答	
			休憩		
	13:00～		3 大西 陽春	一問一答	
	13:45～		4 富谷 加都子	一問一答	
			休憩		
	14:45～	5 土岐 新	一問一答		
6月20日(火)	10:00～	個人	6 西口 純生	一問一答	
	10:45～		7 梅本 靖博	一問一答	
			休憩		
	13:00～		8 浅田 晴彦	一問一答	
	13:45～		9 片山 輝夫	一問一答	
			休憩		
	14:45～		10 林 徹司	一問一答	
15:30～	11 竹内 博士	一問一答			
6月21日(水)	10:00～	個人	12 法貴 隆司	一問一答	
	10:45～		13 山木 裕也	一問一答	
			休憩		
	13:00～		14 大塚 建彦	一問一答	
	13:45～		15 三上 泉	一問一答	
			休憩		
	14:45～		16 山本 由美子	一問一答	
15:30～	17 小川 克己	一問一答			
6月22日(木)	10:00～	個人	18 原野 実生子	一問一答	
	10:45～		19 齊藤 一義	一問一答	
			休憩		
	13:00～		20 大石 慶明	一問一答	
	13:45～		21 木村 勲	一問一答	
			休憩		
	14:45～		22 小林 仁	一括	
15:30～	23 福井 英昭	一問一答			

【注意】

質問者の日程については予定であり、議事の進行により変更する場合があります。ご了承ください。

令和5年第2回亀岡市議会定例会6月議会 一般質問通告書

番号	質問者 質問日時	質問事項	質問要旨	答弁者
1	松山 雅行 6月19日(月) 10:00~ ※一問一答	1 川の駅・亀岡水辺公園の整備について	川の駅・亀岡水辺公園がオープンして以降、キャンプやバーベキューなどでにぎわいが生まれ、環境学習でも活用されているが、今後のさらなる施設の発展と整備について問う。 (1) 施設の利用実績は。 (2) 護岸への安全が確認されれば、保津川下り乗船場同様、スロープ設置が可能と考えるが、包括占用も含めた京都府との協議の進捗は。 (3) 月読橋球技場も含めてアクティビティを楽しめる空間創造を展開し、親水とにぎわいが重なり合った一体的な施設整備を行う考えは。	市長 所管部長
		2 大阪・関西万博について	大阪・関西万博開催まで2年を切ったところである。本市では、大阪・関西万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」を実現し、SDGsの達成に貢献するため、「TEAM EXPO 2025」プログラム 共創パートナー・共創チャレンジに登録し、積極的に活動中であるが、今後の本市の取組について問う。 (1) これまでに行った共創チャレンジの内容と実績は。 (2) 本市として今後どのように取り組む予定なのか。	市長 所管部長
		3 街路樹の管理について	街路樹は、環境・景観・交通安全・防災面においても重要で、「緑」は本市における魅力の一つと考える。全国的にも緑の量的拡充が求められ、成長が早く、上へ上へと枝葉が成長する樹種が選ばれてきた経過もあると思うが、樹勢がよいと道路環境では様々な問題が生じている。本市における街路樹整備について問う。 (1) 街路樹の管理状況は。 (2) 危険な街路樹はどのように把握しているか。 (3) 若木や成長の緩やかな樹木、低木への植え替えなど樹種転換する考えは。 (4) 街路樹の在り方について検討すべきであると考えがどうか。	市長 所管部長
		4 中山間地域における農業振興について	持続可能な農業の実現には、担い手の確保が重要である。中山間地域においては、担い手不足は農地や山林の荒廃の加速に直結する。さらには、米価の下落により、市内の水稻農家の生産意欲は既に後退していると聞かすが、本市の状況と対策について問う。	市長 所管部長

		5 学校における防犯対策について	<p>(1) 中山間地域の農家の担い手確保について本市としての対策は。</p> <p>(2) 本市の平坦地域と中山間地域における生産性（地理的条件・労働力）の現状は。</p> <p>(3) 中山間地域において本市独自の特色ある農業を進める考えは。</p> <p>国内で初めてセーフコミュニティの認証を取得した本市だからこそ、国内で安全・安心なまちづくりをリードする必要があると考える。とりわけ学校における防犯対策について問う。</p> <p>(1) 小・中・義務教育学校の校門入口の防犯カメラ設置状況は。</p> <p>(2) 全小・中・義務教育学校の校門入口に防犯カメラを設置すべきであると考えているかどうか。</p>	市長 教育長 所管部長
2	平本 英久 6月19日(月) 10:45～ ※一問一答	1 篠町篠企業団地土地区画整理事業地周辺の環境整備について	<p>これまでも篠町内で企業誘致や工業団地の整備に積極的に取り組んできたが、本市として今後の周辺の環境整備の在り方について問う。</p> <p>(1) 土地区画整理事業地内には防球ネットを完備した公園が既設されているが、現状の利用状況は。</p> <p>(2) 土地区画整理事業地内には多くの企業が事業所の建設を進めているが、近隣住民の交通安全対策について、本市としての考えは。</p> <p>(3) 今後整備が計画されている同土地区画整理事業地西側に隣接する第二期予定地の進捗は。</p>	市長 所管部長
		2 観光を主軸としたにぎわい創出について	<p>これまでコロナにより大きな打撃を受けてきた本市の観光産業であるが、今後どのような支援を行い、観光の促進や産業を発展させていくのかについて問う。</p> <p>(1) 観光客誘致や地元への経済効果を期待するフィルムコミッションであるが、これまでの実績や成果は。</p> <p>(2) 本年度行うバルーンフェスティバルについての具体的な事業内容は。</p> <p>(3) 昨年は様々な問題や課題があった亀岡平和祭保津川市民花火大会であるが、本年度の実施に向けた本市の考えは。</p> <p>(4) 本市の観光の中で歴史的に古く、大切な観光資源である保津川下りについて、本市の考えは。</p> <p>(5) 保津川下りの維持継続に向けて、現状や課題を把握しているのか。</p> <p>(6) 保津川下りの再稼働に向けて、具体的な支援策は考えているのか。</p>	市長 所管部長
		3 環境政策の取組について	<p>環境先進都市を目指す本市として、ごみの再資源化や分別区分拡大等に積極的に取り組んできたが、これまでの検証結果や今後の環境政策につ</p>	市長 所管部長

		4 コロナ関連の相談対応について	<p>いて問う。</p> <p>(1)新たに見直したごみの分別区分拡大後の現状は。</p> <p>(2)亀岡市ポイ捨て等禁止条例に定められている、かめおか環境デー関連事業の状況や成果は。</p> <p>(3)本市としてプラスチック製レジ袋の提供禁止や脱プラ容器などに積極的に取り組んできたが、これまでの市内のイベント等において周知徹底できているのか。</p> <p>(4)マイボトルの持参率向上に向け、市内で行われる大規模なイベントなどで臨時の給水スポットを設置してはどうか。</p> <p>これまでもコロナ禍における多様な相談への対応に取り組んできた本市であるが、誰一人取り残さないという観点から現状と対策について問う。</p> <p>(1)今なおコロナ関連による健康不安や生活困窮などの多様な相談への対応が必要と考えるが、福祉なんでも相談窓口における相談の状況は。</p> <p>(2)コロナの影響や物価高騰により経済的困窮を訴える方があると聞くが支援体制は。</p> <p>(3)全国的にコロナの影響とも考えられる自殺が増加しているが、本市における現状や対策は。</p>	市長 所管部長
3	大西 陽春 6月19日(月) 13:00~ ※一問一答	1 市長の政治姿勢について	<p>「子どもファースト宣言」や「オーガニックビレッジ宣言」のもと、市長は、全員制中学校給食の実施と、育親学園での自校方式による給食の実施、各小学校におけるオーガニック給食の実施を表明した。今年度は亀岡市学校給食検討懇話会を立ち上げ、学校給食の検討を始めることになった。よりよい学校給食の実施と、給食費の無償化について市長の考えを問う。</p> <p>(1)よりよい学校給食の実施について問う。</p> <p>①検討懇話会の市民公募の定員は1人であったが、市民からの応募は何人あったのか。また、その中で選考はどのようにされたのか。</p> <p>②オーガニック給食や中学校給食は、現在の給食センター1か所ではできない。安全・衛生に係るリスク回避と、有機米・有機野菜や地元産の食材を有効活用した温かくておいしい給食の提供のためにも、小規模調理場方式での学校給食が必要である。そのような考えはないのか。</p> <p>(2)物価高とコロナの影響などにより、市民の生活はまだまだ大変だと聞く。全国では給食費を無償化している自治体が急速に増えている。本市でも、給食費の無償化を実現されたいがどうか。</p> <p>(3)令和6年度開校予定の義務教育学校「育親</p>	市長

		<p>2 ごみの新しい出し方について</p> <p>3 加齢性難聴に伴う補聴器購入の補助について</p>	<p>学園」について、市民から出されている疑問や不安、様々な要望について、市長の考えを問う。</p> <p>① 1995年阪神・淡路大震災で、現育親中学校のグラウンドに大きなひびが入った。校舎建設に適した地盤であるかどうか心配される。共産党議員団は2022年11月2日に「育親学園設置に関する申し入れ」を行い、早急に地盤調査を行うことを求めたが、調査はされたのか。また、未実施であればその予定は。</p> <p>② 「育親学園」として校舎の完成を待たずに開校を令和6年度とするのはなぜか。</p> <p>③ 各小学校からの教具や机等の備品の移動は、教職員や保護者、市職員の手ではなく、専門の事業者に依頼して計画的に行うことになっているのか。</p> <p>今年度から始まったごみの新しい収集方法で、燃やすしかないごみの減量、資源ごみの回収の増加の報告を受け、順調に変更が行われていると考える。収集方法について数々の問合せがあり、個別に回答されていることは評価するものである。なるべくごみにせず資源にする取組は市民からも納得の声を聞いている。しかし、細かなところでの質問や要求について問う。</p> <p>(1) これまでは草木のごみが、燃やすごみとして毎週2回収集されたが、4月より資源ごみとなり月1回の回収となっている。せめて、月2回に増やすことができないか。</p> <p>(2) 草木を資源としてリサイクルする考えは賛成と市民からも聞いている。市内各地から集められる草木の資源化の様子を市民にも分かりやすく説明されたいがどうか。</p> <p>(3) ごみ出しの変更点を取り違えている場合もある。特に理解が進むように市民に周知される必要を感じる。所見と今後の見通しは。</p> <p>国立長寿医療研究センターの調査(2008～2010年)では、難聴有病者が65歳以上で1,500万人、45%であると発表されている。難聴と認知症の関わりについても、厚生労働省の認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)の「発症予防の推進」の項で、加齢などとともに難聴が認知症危険因子として挙げられている。また、難聴は鬱病の危険因子ともされている。加齢性難聴者にとって補聴器の使用は就労・社会参加に必須である。以下の補聴器購入補助についての考えを問う。</p> <p>(1) これまでの本市の議会でも、難聴が認知症の因子になることや、補聴器を用いることで認知症の発症リスクを軽減できる可能性があることと認識していると答弁されているが、こ</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
--	--	--	---	---------------------------------------

		<p>4 マイナンバーカードと健康保険証との一体化について</p>	<p>の認識は現在も変わらないか。</p> <p>(2) 亀岡市いきいき長寿プランに「高齢者の地域活動・ボランティア活動への参加促進」がうたわれており、高齢者の活発な活動を推奨している。高齢者の補聴器購入に対して、市として補助を行う考えは。</p> <p>(3) 全国的に補聴器の補助を行う自治体は123になる。京都府でも京丹後市、精華町で、補助が実現している。本市でも早急の実現を求める声が多い。この点についての考えは。</p> <p>今国会で2024年秋に健康保険証をマイナンバーカードに置き換える「マイナンバー法等改正法案」が可決された。保険証を被保険者に届けることは、国民健康保険・後期高齢者医療制度であれば、保険者である亀岡市の義務である。保険証を廃止して「資格確認書」を申請交付することは、国民皆保険を揺るがすものとなると考える。本市の具体的な対応について問う。</p> <p>(1) 個人情報の漏洩やシステムトラブルが全国各地で起きている。本市では現在そのような事例はないか。</p> <p>(2) トラブルが起きないように対策、万一トラブルが起こった場合の対応は。</p> <p>(3) 高齢者、疾病者、独居者等が、「資格確認書」の申請ができないときや、生活が苦しくて保険料を滞納せざるを得ない状況のときは、保険による受診ができなくなることが想定されるが、対応を考えているのか。</p> <p>(4) 市町村独自の判断で保険証を交付することが可能だと聞く。亀岡市独自で保険証を出すようにすべきと考えるが所見は。</p>	<p>市長 所管部長</p>
4	<p>富谷加都子 6月19日(月) 13:45~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 自治会等のデジタル化について</p>	<p>現在、人口減少と高齢化が進み地域住民の支え合いの組織が弱体傾向であり、自治会活動の維持が課題となっている。社会環境は、非正規雇用の増加や単身世帯の増加を背景に孤立、孤独や要介護リスク等が深刻化し、地域の安心・安全を支える自治会の役割は、ますます重要である。</p> <p>(1) 自治会等の地域コミュニティの希薄化や担い手不足について市の認識は。</p> <p>(2) 市として自治会、町内会活性化を支援する施策は。</p> <p>(3) 市は、令和3年に「亀岡市情報化推進計画」を策定し、その後「亀岡市デジタルファースト宣言」を行い、市民サービスの利便性向上が享受できるデジタル化を推進している。今後は、自治会においてもデジタル技術を活用すべきと考える。例えば、自治会の情報共有の負担軽減や若い方への加入促進として持ち回りの回覧板を電子回覧板に移行するなど、身近なところからデジタル化を推進できないかと考えるが所見は。</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>2 不登校対策について</p> <p>3 観光ハイキングコースの整備について</p>	<p>(4)京都市が地域コミュニティを持続可能にする手段として、小田急電鉄株式会社が提供する自治会や町内会向けのSNS「いちのいち」をモデル的に導入した。今後、デジタル化の流れは止められないと考える。自治会等でデジタル化の声が上がれば、市のモデル事業として後押しする考えはあるのか。</p> <p>不登校の小・中・高生が急増している事態を受け、文部科学省は「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策(COCOLOプラン)」を、本年3月31日に策定した。政府の総合対策を受け、本市の取組を問う。</p> <p>(1)教室に通いづらい生徒の居場所として校内に設ける「スペシャルサポートルーム」導入の進捗は。</p> <p>(2)新規事業である、フリースクールの助成を活用された児童生徒数は。</p> <p>(3)自宅やサポートルームで、一人一台の端末を利用し授業の配信を行う考えは。</p> <p>(4)自宅やサポートルームでの学習が、成績評価に反映できる体制は。</p> <p>(5)端末による児童生徒の健康対策の考えは。</p> <p>(6)保護者支援として、「不登校の子どもの保護者会」を設置する考えはあるか。</p> <p>コロナ感染状況の回復とともに、観光客が徐々に戻りつつある。アウトドア派が増える中、歴史街道を歩く団体等の需要が期待できる。道路、衛生面、観光案内等、再点検を要する。</p> <p>(1)亀岡城下町散策コースは、町家カフェがある本町通りがルートに入っているが、案内看板が老朽化し、読めない状況である。一部の看板は更新されていたが、次回の更新予定はあるのか。</p> <p>(2)同コースには歩道が無く、交通量が多い道路も存在するが、道路の整備計画はあるのか。</p> <p>(3)老ノ坂を歩くコースで、首塚大明神のある旧山陰道がある。主君の織田信長を討つため、1万3,000人の兵を率いて歩いたとされる道であり、歴史拠点としては、訪れたい魅力スポットである。トイレ整備を望む声があるが、整備できないか。</p> <p>(4)京都市方面から、老ノ坂トンネル入口手前を左折した道路は、途中まで本市の市道であるが、道路の傷みがひどい箇所がある。放火や不法投棄、熊出没等課題が多い場所でもあるため、整備すれば課題解決の一助となると考えるかどうか。</p>	<p>市長 教育長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
5	土岐 新 6月19日(月)	1 挨拶運動について	<p>挨拶運動について問う。</p> <p>(1)近年、挨拶する子どもや若者たちが減って</p>	市長 教育長

<p>14：45～</p> <p>※一問一答</p>		<p>いると感じる。亀岡市では、児童生徒に対し、規律として非常に大切である挨拶について、しっかりと教えているのか。</p> <p>(2) 持続可能な社会を実現するためにも、挨拶は非常に大切である。市内全体に横断幕や垂れ幕を掲げ「挨拶運動」を進めていくべきだと思うがどうか。</p>	<p>所管部長</p>
<p>2 マナー条例について</p>	<p>マナー条例について問う。</p> <p>(1) 地域の良好な生活環境を確保するため、マナー条例を制定されている自治体がある。本市においても、安全で美しい環境の保持、助け合いができる条例として、亀岡市ポイ捨て等禁止条例や亀岡市路上喫煙の規制に関する条例等があるが、これらを合わせてモラル・マナー条例とし、挨拶もマナーの一部として位置づけ、挨拶運動に取り組んではどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p>	<p>市長 所管部長</p>
<p>3 高齢者の健康維持や居場所づくりについて</p>	<p>高齢者の健康維持や居場所づくりについて問う。</p> <p>(1) 亀岡市内の都市公園50か所に、高齢者が健康維持のために利用できる足踏み健康器具や懸垂器具等を設置してはどうか。また、休憩することができ、高齢者等が集いコミュニケーションを図れる小屋を設置してはどうか。</p> <p>(2) 本市は、ソフトバンクと連携してLINEアカウントを活用した「ポイ捨てごみゼロプロジェクト」に取り組んでいる。その手法を活用し、ウォーキング等を行った結果がLINEに反映され、一定の基準をクリアするとプレゼントがもらえるという仕組みを構築し、高齢者の健康対策として実施してはどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p>	<p>市長 所管部長</p>
<p>4 障がい者支援について</p>	<p>障がい者支援について問う。</p> <p>(1) 今、日本では物価上昇による影響で、電気代やガス代をはじめ、食料品に至るまで様々なものが値上がりし、企業や市民は大変な状況である。特に、亀岡市障害者就労支援共同センターの運営状況は大変苦しい状態に陥っていると思われることから、「福祉都市」を宣言した亀岡市として、障がいや困難を抱える方々が希望を持って暮らしていけるよう、事業所に対し、しっかりとした支援を行う必要があると思うがどうか。</p> <p>(2) 事業所の運営がより向上するよう、亀岡市が主催している全てのイベントに参加していただき、事業所で作られた物品や食品を販売できるスペースを設けてはどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p>	<p>市長 所管部長</p>
<p>5 中学校の部</p>	<p>中学校の部活動について問う。</p>	<p>市長</p>	<p>市長</p>

		活動について	<p>(1) 少子化や教員の長時間勤務等により、中学校の部活動を取り巻く環境は大きく変化している。本市として、今後の部活動の在り方をどのように考えているのか。</p> <p>(2) 国は来年度から、部活動と教員の働き方改革を両立させるため、休日に行われている中学校の部活動を地域のスポーツクラブのインストラクターや、大学生等に移行していく方針を示しているが、本市の考えはどうか。</p> <p>(3) 専門家が部活動を指導することで、教員が部活動に関わる機会が減ることも予想される。それに伴い、部活動の成績を高校入試のアピール材料として生かしきれない可能性がある。個人の能力や個性等をどのように評価し生かしていくのか所見は。</p> <p>(4) 部活動が地域移行する場合、指導料や備品購入等の費用がかかるため、大きな財源が必要になる。市民や地元企業等から寄附を募るなど、子ども達に負担をかけないように取り組んでいく必要があると考えるがどうか。</p>	教育長 所管部長
		6 亀岡運動公園について	<p>亀岡運動公園の屋外施設について問う。</p> <p>(1) 去る5月20日に市議会広報広聴会議の広聴活動として実施した「街頭アンケート」では、多くの市民から意見をいただいた。その中で「小学校高学年の児童や中学生が遊ぶ場所がない」との意見があった。広い敷地がある亀岡運動公園にアスレチック等の施設を設置することはできないか。</p> <p>(2) バーベキューができる施設やキャンプ場を造れば、亀岡運動公園の活性化につながり、利用者の増加も見込めると考えるが所見は。</p>	市長 所管部長
6	西口 純生 6月20日(火) 10:00~ ※一問一答	1 市長の政治姿勢について	<p>去る3月28日に発生した保津川下りの事故が大きく報道され、亀岡の三大観光の一つである、保津川下りの復活が危惧されている。事故発生から間もなく3か月が経過しようとしているが、この間の対応と保津川下り復活に向けた今後の対応が注目されている。</p> <p>(1) 市長は、事故発生から現在までの対応をどのように捉えているのか。</p> <p>(2) 新聞等では、船頭が乗客を助けたと報道されているが、そのことを市は把握しているのか。</p> <p>(3) 保津川遊船企業組合の記者会見の内容は、どのようなものであったのか。</p> <p>保津川下りは、400年以上の歴史を歩んでおり、操船技術等は、本市の無形民俗文化財に指定される等、歴史的かつ文化的な観光資源である。</p> <p>(4) 安全対策を万全に講じた上で、再開していただきたいと思うが、所見は。</p> <p>(5) 世界に誇る観光資源、文化資源として復活ができるよう積極的な支援をするべきであ</p>	市長

		<p>2 安全・安心のまちづくりについて</p>	<p>ると考えるが、所見は。</p> <p>保津町地内の谷山池の水位監視システムの整備を、令和4年9月議会で要望したところ、直ちに対応・運用していただき感謝している。今後のシステム管理について問う。</p> <p>(1) 3年後に発生する地元の管理費は、負担が大きく厳しい状況であると自治会から聞いている。防災・減災の観点から、公共事業であると考え、市が管理費の負担を受け入れられない理由は。</p> <p>(2) 谷山池の現状を、どのように捉えているのか。</p> <p>(3) 3年後、この事業を継続しない場合、設備等の撤去費用は誰が負担するのか。</p> <p>(4) この事業は、防災・減災の観点から、河川整備と同等に、行政管理の度合いが大きいと考えるが、管理費用も含め、行政として、地元と協議は行わないのか。</p> <p>(5) 水位監視システムは、すでに運用が可能であるが、システムが異常を感知した場合、どのように住民に伝え、どこへ避難させるのか。</p> <p>(6) 管理を継続しない場合、亀岡市は土石流から人の命を、誰に守れと言うのか、所見は。保津橋上流への次の霞堤嵩上げ整備について問う。</p> <p>(7) 霞堤嵩上げを促進するためには、嵐山より下流の効果的な整備が必要であるが、どのような内容を求めていくのか。</p> <p>(8) (7)の整備ができた場合、亀岡の安全度はどの程度高まるのか。</p>	<p>市長 教育長 所管部長</p>
		<p>3 地域課題について</p>	<p>地域課題について問う。</p> <p>(1) 本年度における市道保津外環状線の工事着手計画は。</p> <p>(2) 令和4年12月議会の一般質問において、河原林町自治会前の南河原の水路をカルバート方式で整備することについて、地元と協議をすとの答弁であったが、進捗状況は。</p> <p>(3) 河原林町内の側溝は幅が極めて狭く、流下能力が低いため、豪雨の際の対応ができず、災害等の問題だけではなく、移住・定住の妨げにもなっている。そこで、地域全体を調査するとともに、環境改善に向けた計画を策定し、整備することはできないか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
		<p>4 地域の活性化について</p>	<p>待ち望んでいた保津橋のイルミネーションも復活できた。これをランドマークとして、にぎわい創出の足がかりとしていきたい。</p> <p>(1) 花火大会とのマッチングは当然であるが、夜空を華麗に彩る光のページェントや、バルーンの灯りとの共演、また保津川の水を利用</p>	<p>市長 所管部長</p>

			<p>した放水に華麗な光を当てたパフォーマンス等、夜に焦点を当てたにぎわいの創出を行う考えは。</p> <p>(2) イルミネーションを野外コンサート会場の背景として活用する等、事業を展開していく考えは。</p> <p>(3) 令和2年度に実施する予定であった「東京ディズニーリゾート・スペシャルパレード」が新型コロナウイルス感染症の影響によって中止となったが、新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置づけが、2類相当から5類になった今、改めて実施する考えは。</p>	
7	<p>梅本 靖博 6月20日(火) 10:45~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 トロッコ亀岡駅ゲートウェイ化推進事業と桂川等の河川改修について</p>	<p>今年度の新規事業「トロッコ亀岡駅前ゲートウェイ化推進事業」について問う。</p> <p>(1) トロッコ亀岡駅南側のにぎわいづくりと利便性向上を図る「トロッコ亀岡駅ゲートウェイ化推進事業」の内容は。</p> <p>(2) 本市は、観光の玄関口であるトロッコ亀岡駅をどのように位置づけているのか。</p> <p>(3) 観光案内所の設置と便益施設の管理運営を皮切りに、ゲートウェイ化に向けた取組を進めていくのか。</p> <p>(4) ゲートウェイ化を推進するための課題と見込まれる効果は。</p> <p>(5) 地元の関心を集める取組や住民交流イベントを実施する等、篠町をはじめ、地元地域へ根差していくようなビジョンはあるのか。</p> <p>本市は、第5次亀岡市総合計画の中で、誰もが安心して暮らしていくため、防災・減災対策を強化し、災害に強いまちづくりを進めていくことを掲げている。</p> <p>(6) 京都府の洪水浸水想定区域図におけるトロッコ亀岡駅周辺の最大想定浸水深は。</p> <p>(7) トロッコ亀岡駅の周辺地域は、平成25年に台風18号の影響で冠水する事態となったが、トロッコ亀岡駅前のゲートウェイ化を推進するに当たり、観光、防災・減災の観点からの所見は。</p> <p>亀岡市の観光の玄関口として、篠町をはじめとした地元地域周辺のにぎわいづくりを進めていくためには、安全・安心のまちづくりが必要であり、桂川等の河川改修が大変重要である。</p> <p>(8) 桂川上流圏域の段階整備を四段階で設定し実行されているが、現状はどうか。</p> <p>(9) 段階整備の今後の実施計画は。</p> <p>(10) 桂川本流からあふれた、いわゆる外水に対する現在の対策は。また、想定を超えた場合、どのような水害が起こり得るのか。</p> <p>(11) 内水の排水処理は、誰が行うのか。</p> <p>(12) 内水浸水対策として使用される排水ポンプ車の京都府内における配備状況は。</p> <p>(13) 本来、亀岡市域(桂川本流)に排水ポン</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>2 自転車用ヘルメットの購入助成について</p>	<p>プ車を配備すべきであるが、排水ポンプ車が配備された場合には、搬入経路・停止場所・排水活動等の資料（地図・現場の表示等）を準備・作成・設置する必要があると考えるがどうか。</p> <p>内水浸水対策として、排水ポンプ車の配備は河川改修と並行して行われるべきである。</p> <p>(14)排水ポンプ車が常時配備されないとしても、配備されたことを想定し訓練を行うなど、少ない負担でできる取組もある。可能な範囲で排水活動の準備を行い、安全・安心な体制が整っていることを地元住民に伝え、安心してもらうことが必要であると考えがどうか。</p> <p>警察庁によると、交通事故全体に占める自転車の構成比率は、平成28年の18.2%から令和3年は22.8%と増加傾向にあり、令和3年の自転車事故件数は6万9,694件で、前年より2,021件増加している。また、ヘルメット着用の着用・非着用でその致死率は約2.6倍となっている。令和5年4月1日から道路交通法の改正に伴い自転車利用者のヘルメット着用が努力義務化となった。</p> <p>(1)市内における、自転車が関係する交通事故の件数は。</p> <p>(2)改正道路交通法により、自転車利用者のヘルメット着用が努力義務に変更されたが所見は。</p> <p>(3)自転車利用者がヘルメットを着用することによって期待できる安全面でのメリットは。</p> <p>(4)改正道路交通法の施行前後に自転車用ヘルメットを推奨する啓発活動は行ったのか。また、亀岡高校や南丹高校へ自転車で通学する高校生たちに周知しているのか。</p> <p>(5)中学校へ自転車通学する生徒に対して、ヘルメット購入の助成は行われているが、自転車通学している高校生も助成の対象としてはどうか。</p> <p>(6)本市が貸出しているレンタサイクルにヘルメットを備え付ける等、安全面に配慮した対応が必要ではないか。</p> <p>(7)免許を返納した高齢者は、自転車等が重要な移動手段となるが、ヘルメット着用を促進する対策が必要ではないか。</p> <p>(8)将来的にヘルメットの着用が義務化されることも想定される中、セーフコミュニティの観点からも、自転車を利用する市民の安全を確保するため、ヘルメットの購入助成を行うてはどうか。</p>	<p>市長 教育長 所管部長</p>
8	浅田 晴彦 6月20日(火)	1 本市における民生委員・児	亀岡市内の各地域に配置されている民生委員・児童委員においては、常に住民の立場に立っ	市長 所管部長

<p>13:00～</p> <p>※一問一答</p>	<p>童委員の現状について</p> <p>2 京都府総合防災訓練について</p> <p>3 避難誘導体制の組織づくりについて</p> <p>4 避難所確保の対策について</p> <p>5 市道池尻宇津根線の事故防止対策について</p> <p>6 市職員の健康増進について</p> <p>7 熱気球の体</p>	<p>て相談に応じ、それぞれ必要な援助を行うなど、特に高齢者や独居世帯にとって大変重要な存在である。</p> <p>(1) 市内の各地域に配置されている民生委員・児童委員の規定数は。</p> <p>(2) 人員確保の現状と課題は。</p> <p>亀岡市で開催される令和5年度京都府総合防災訓練について、現在実施に向けた計画や準備が進められている。</p> <p>(1) 大規模な自然災害を想定した訓練内容であるとするが、どのような計画がされているのか。</p> <p>(2) 市内の各地域で実施される分散型訓練の内容は。</p> <p>(3) 市民に向けた啓発等の取組として、訓練会場での見学席の設置や、保津橋から見学できるように計画してはどうか。</p> <p>(4) 亀岡川東学園内のマンホールトイレを使用した訓練を実施してはどうか。</p> <p>京都府総合防災訓練の実施等により、市民の防災への関心が高まるときに合わせて、高齢者や独居世帯に対する避難誘導体制の確立を、市内の各地域に広げていく必要があると考える。</p> <p>(1) 各自治会に避難誘導体制の組織づくりに向けた協力依頼をしていく考えは。</p> <p>大規模災害時においては、本市の指定避難所だけでは足りなくなることが想定されるが、今後の緊急時における避難所確保の対策について問う。</p> <p>(1) 大規模災害時の緊急対策として、市内企業や各地域の空き地等の所有者に協力いただき、車中避難等の避難所に指定していく取組を進めてはどうか。</p> <p>令和5年4月に完成・開通した市道池尻宇津根線の幾つかの交差点で事故が発生している現状がある。安全で安心に通行できる良好な道路環境が望まれている。</p> <p>(1) 市道池尻宇津根線と農道が交差する付近などに、事故防止につながる注意喚起の看板設置が必要と考えるが、設置計画はあるのか。</p> <p>市職員の健康管理について、自身の体調管理がうまくいかず、体調不良や病気につながる一要因として運動不足があるのではと考える。</p> <p>(1) 各職場でのデスクワークにおいて、職員の希望者に対し、椅子の代わりにバランスボールを導入する考えは。</p> <p>亀岡川東学園では熱気球の体験学習が実施さ</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 教育長</p>
----------------------------	--	---	--

		<p>験学習について</p>	<p>れており、貴重な体験学習の機会として、今後の計画に期待が高まっている。</p> <p>(1) 今後も亀岡川東学園での熱気球の体験学習を継続されるのか。</p> <p>(2) 熱気球の体験学習を市内各学校に広げていく計画はあるのか。</p>	<p>所管部長</p>
9	<p>片山 輝夫 6月20日(火) 13:45~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 核軍縮に関するG7首脳広島ビジョンの評価について</p> <p>2 自然環境保全及び生物多様性について</p>	<p>2023年5月19日に個別声明として発表された「核軍縮に関するG7首脳広島ビジョン」は、「我々の安全保障政策は、核兵器は、それが存在する限りにおいて、防衛目的のために役割を果たし、侵略を抑止し、並びに戦争及び威圧を防止すべきとの理解に基づいている。」という核兵器による抑止効果を表明し、核兵器禁止条約や被爆者について一言も触れず、G20首脳宣言からも後退する結果に、被爆者や市民、国際NGOなどからも大きな失望の声が寄せられている。</p> <p>(1) 「世界連邦・非核平和都市宣言」を行う首長として、「核軍縮に関するG7首脳広島ビジョン」に対して、どのような認識をもっているのか。</p> <p>(2) 亀岡市も加盟する平和首長会議の行動計画では、核抑止論からの脱却と日本の核兵器禁止条約の早期批准を政府に求めており、平和首長会議の一員として、積極的に非核と条約批准のメッセージを発する責務があると思うが市長の認識は。</p> <p>平成26年3月に発行された「亀岡市緑の基本計画」には、山並み・農地や河川など豊かな『緑』の自然環境の保全を図り、様々な貴重種が息する自然環境を保全し、生物多様性の確保に取り組む重要性が指摘されている。また市は「亀岡市水と緑の基本計画」の策定に取り組んでいるが、自然環境保全及び生物多様性の確保は引き続き重要な課題である。</p> <p>(1) 現在市内各地で見られるオオキンケイギクは、北アメリカ原産の外来種であり、繁殖力が強く、我が国本来の植生に重大な悪影響を与えるおそれがある。平成18年に外来生物法に基づく「特定外来生物」に指定され、人為的に拡散させる原因となるような行為が原則禁止されており、違反すると罰則が科せられる場合がある植物である。見かけがきれいなため、持ち帰り移植する方もいるが、全国には積極的に駆除に取り組む自治体もあり、本市としてもしっかりと啓発すべきではないのか。</p> <p>亀岡駅北土地区画整理事業の施工に対し、「亀岡市都市計画公園及び京都府立京都スタジアムに係る環境保全専門家会議」は、アユモドキの越冬等生息環境に影響を及ぼさないよう地下水保全を強く求めていた。京都府と亀岡市が策定した</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>3 農業者及び営農組織への応援施策について</p>	<p>平成30年11月15日付「亀岡市都市計画公園及び京都スタジアム（仮称）の整備計画の策定にあたり考慮すべき基本方針（Ver. 3. 2）」のロードマップ案で、市及び区画整理組合に対し、地下水利用制限の建築協定等の締結が明記されている。しかし、令和5年7月1日にオープンする「ホテルルートイン京都亀岡駅前」には、天然温泉大浴場が設置されている。</p> <p>(2) 地下水の利用制限に関する建築協定の取組について、現在の状況は。未締結であるならば、地下水の利用制限の方針は怎么样了のか。</p> <p>令和5年度亀岡市一般会計補正予算（第2号）において、畜産農家に対して、飼料代高騰分の一部を助成する経費として2,237万5,000円が計上された。令和5年3月議会において、全ての農家に対して緊急支援を要請したことから、今回の措置は一定評価するものである。一方で、市内の営農組織は、農家や農地面積の減少、担い手不足などで、人材面、財政面からも運営は厳しさを増しており、支援が求められている。</p> <p>(1) ジャンボタニシの冬季耕うん事業では、予算と要望が大きく乖離した。今回計上された助成経費は要望量を正確に把握しているのか。</p> <p>(2) 畜産業を営む農家だけでなく、耕種農家にも支援を拡大すべきではないか。</p> <p>(3) 営農組織の支援策として、令和4年度に削減された営農組織（営農振興会等）への集落営農育成強化事業助成金（基礎支援分）を復活すべきではないか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
		<p>4 亀岡市地域公共交通計画の見直しについて</p>	<p>ふるさとバスやコミュニティバス並びに地域主体型交通は、市民にとって欠くことのできない交通手段である。今年度は亀岡市地域公共交通計画策定の時期であり、令和5年5月29日の令和5年度第1回亀岡市地域公共交通会議において、計画策定スケジュール表が提示されている。</p> <p>(1) 2019年3月に制定された亀岡市地域公共交通網形成計画において、公共交通の課題を解決するための方向性と、課題抽出の根拠となる地域の現状を取りまとめているが、今年度の計画策定にどう生かしていくのか。</p> <p>計画策定に当たっては、市民ニーズの把握が最も重要であるが、スケジュール表では市民アンケート（1,500人）とパブリックコメントの実施のみとなっている。交通会議の中でも利用者への動向・意向調査実施の意見も出され、また前述の計画にも地域こん談会以外に利用者や地域住民が公共交通の在り方について主体的に議論する機会を創出する旨記載している。</p> <p>(2) アンケート以外に、市民参加の説明会また</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>5 保津川流域治水の重要性と補償の検討について</p>	<p>はワークショップなどを実施すべきではないのか。</p> <p>亀岡市流域空間デザイン検討会議から「亀岡市における流域治水時代のまちづくりに向けた提言」がまとめられた。その中で、亀岡盆地の雨水や洪水の貯留を一時的に受け入れる機能を有する土地（以下、遊水機能を有する土地）が河川の氾濫抑制と下流域の洪水低減に重要な役割を果たしていること、当該土地に対する何らかの補償を広域的にも地域的にも講じる必要があると指摘している。</p> <p>(1) 亀岡市内の遊水機能を有する土地とは具体的にどの区域か。</p> <p>(2) 全国で補償が行われた事例にはどのようなものがあるのか。</p> <p>(3) 国営緊急農地再編整備事業亀岡中部地区桂川西工区は遊水機能を有する土地を、所有者が工事費を負担してほ場整備を行うが、土地のかさ上げは京都府条例により一切認められない。提言の趣旨を踏まえ、何らかの補償を検討すべきでないのか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
10	<p>林 徹司 6月20日(火) 14:45~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 糖尿病性腎症重症化予防事業について</p>	<p>本市国民健康保険、後期高齢者医療において、当該予防事業を実施した背景とこれまでの評価を鑑み、今後より効果的な勧奨手法の必要があるのではないかと考える。</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症の影響による受診控え等があると考える中で、以下の点について問う。</p> <p>① 特定検診の受診率の変動は。</p> <p>② 市内医療機関における糖尿病患者の未受診の状況は。</p> <p>③ 同じく糖尿病患者の治療中断者の状況は。</p> <p>(2) 本市の糖尿病患者の現状について問う。</p> <p>① 人数と医療費の状況は。</p> <p>② 人工透析患者の人数及び医療費、また患者数の推移は。</p> <p>③ 糖尿病が原因で人工透析となった方の割合は。</p> <p>(3) 糖尿病治療中断者の対象抽出回数は、また受診勧奨の方法はどうか。</p> <p>(4) 国保データベースシステムでは過去5年分のレセプトデータから対象を抽出できることから、該当者全員に受診勧奨を行い、治療につなげる必要があるのでは。</p> <p>(5) 10分の10の財源である、国の「市町村ヘルスアップ事業」により、民間事業者へ委託することも可能であり、全治療中断者の抽出から受診勧奨を推し進めるためにも、同事業を有効活用することを強く要望するが、所見は。</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>2 保津川下り 運航再開について</p> <p>3 畑野町広野 2区平井・閉亀 地域の土砂崩れ 現場の放置につ いて</p>	<p>保津川下りは本市の三大観光の一つとして多くの観光客の皆様に来ていただいております。再開に向けて地元観光・商業事業者の期待も大きい。そのため本市としても注力が必要であると考えます。</p> <p>(1) 今議会の一般会計補正予算に計上された、保津川遊船企業組合の安全対策経費の具体的内容は。</p> <p>(2) 熟練技術を要する保津川下りにとって、船頭さんの生活を守りつつ、離職を防ぐ必要があると思うがどうか。</p> <p>(3) 事業再開に向けての課題とマイルストーンはどうか。</p> <p>本年は例年より早く梅雨入りし、また台風の発生により全国的に被害をもたらしており、本市においても市民の不安が広がる中、2018年畑野町に甚大な被害があった広野2区平井・閉亀地域の土砂崩れ現場について問う。</p> <p>(1) 畑野町における災害区域指定箇所の現状は。</p> <p>(2) 畑野町の指定緊急避難場所・指定避難所はどのようになっているのか。</p> <p>(3) 様々な障がいのある方が、福祉避難所へ避難する場合、避難のルールはあるのか。</p> <p>(4) 現在の放置状態について、市としてどう考え、どう対処していくのか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
11	<p>竹内 博士 6月20日(火) 15:30~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 亀岡平和祭 保津川市民花火 大会について</p> <p>2 亀岡観光振 興・商業振興に ついて</p> <p>3 移住・定住、 就農支援につ いて</p>	<p>亀岡平和祭保津川市民花火大会について問う。</p> <p>(1) 昨年の花火大会における混雑の状況が課題となっているが、今年の警備体制の詳細は。</p> <p>(2) 今年は全て有料席とし、旅行者と連携した新しい試みを実施されると聞いているが、詳細は。</p> <p>亀岡観光振興・商業振興について問う。</p> <p>(1) 明智光秀で亀岡を発信する「光秀熱」は大河ドラマ終了とともに冷めてしまったように感じる。今後、「光秀のまち亀岡」として定着を図る動きや考えはあるのか。</p> <p>(2) 第6弾「かめおか応援クーポン」の実施に当たり、前回の第5弾から大規模店舗等での使用が可能となったが、大規模店舗とそれ以外の店舗における使用状況はどうであったか。</p> <p>移住・定住、就農支援について問う。</p> <p>(1) ここ数年の本市への移住者数の状況は。</p> <p>(2) 移住の目的として、どのようなことがあるのか、またその目的別の割合は幾らか。</p> <p>(3) 就農で移住された方に対する就農後のフォローや支援策は。</p> <p>(4) 有機野菜の販路拡大として、学校給食への導入も支援策の一つと考える。一部の小学校</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 教育長 所管部長</p>

		<p>4 子育て支援について</p> <p>5 ごみの分け方・出し方について</p>	<p>で有機米の導入がされたが、続いて有機野菜によるオーガニック給食を実施する意向はあるのか、あるならば実施時期やその詳細は。</p> <p>子育て支援について問う。 (1) 令和5年3月議会で質問した「子育て情報発信の充実化」の進捗は。また、そのホームページは現在、誰がどのように制作や更新をしているのか。 (2) 子どもファースト宣言は、京都府で一番の施策と言っているが、そもそも子育てをしている人の意見を聞き、反映する仕組みはあるのか。 (3) 妊娠期から出産・子育て期まで一貫した身近な相談支援「伴走型相談支援」を行っているが現状や課題は。 (4) 子育てしやすい町は、親の働き方改革も課題である中、亀岡市は平成28年にイクボス宣言をするなど、「パパ・ママの働き方」へも支援や啓発を行ってきたが現状は。</p> <p>本年4月1日から家庭ごみの分別方法が変更され、紙類、草・木類、小型金属類の区分が新たに設けられた。 (1) 新たに追加された紙類、草・木類、小型金属類の3区分について、2か月を経過しての現状や課題は。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
12	<p>法貴 隆司 6月21日(水) 10:00～</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 有害鳥獣被害対策について</p> <p>2 新産業の創出について</p>	<p>有害鳥獣被害は農業従事者にとって死活問題であり、農業者の生産意欲の減退につながりかねない。篠町ではクマの目撃情報も相次いでおり、有害鳥獣被害対策は急務である。また業務委託をしている猟友会の会員の担い手不足や高齢化も問題となっている。</p> <p>(1) 本市における過去5年間の鳥獣による農産物の被害額と被害面積、有害鳥獣の捕獲数は。 (2) 猟友会会員の平均年齢と登録人数は。 (3) 狩猟免許取得、電気柵等設置の補助は現在あるのか。 (4) 亀岡市地域鳥獣捕獲活動補助金交付要綱第4条に、捕獲の補助金がニホンジカ、イノシシとともに、1頭当たり成獣2万円、幼獣1万3,000円とあるが根拠は。 (5) 捕獲後の処理方法は。 (6) 捕獲された鹿・イノシシを食用、ジビエペットフードに加工できる施設を導入し、新たな地域ブランド商品を創出しては。</p> <p>京都先端科学大学において産・学・官連携事業であるオープンイノベーションセンター・亀岡が本格的に稼働した。今後、新産業の創出や次代を</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>3 安全・安心の取組について</p> <p>4 志教育について</p>	<p>担う人材を育成し、地域や企業の活性化、雇用創出につなげていく必要がある。</p> <p>(1) モビリティイノベーション、グリーンイノベーションに続く新たな価値の創出の案は。</p> <p>(2) 地元企業と連携し、センター内にウニの陸上養殖場を設け、水産業イノベーションとして新たな地域ブランドを創出しては。</p> <p>(3) EV車の導入を促進する本市として、オープンイノベーションセンター・亀岡や市役所等の公共施設に市民が無料で利用できるEV急速充電器を設置しては。</p> <p>セーフコミュニティ国際認証都市として、市民が安心して暮らせるよう、持続可能な取組を行う必要がある。</p> <p>(1) 南桑中学校生徒の通学路である、菟田野町太田北東付近の京都縦貫自動車道をくぐる変則交差点に、地元から信号機設置の強い要望があったと思うが整備計画は。</p> <p>(2) 「まち・レコ」プロジェクトで登録者に呼びかけている情報提供を、事案によっては亀岡市役所公式LINEでも発信しては。</p> <p>(3) 本市におけるドクターヘリのランデブーポイントは市内小・中学校を中心に現在32か所あるが、増やす計画は。</p> <p>(4) 吉川町野水池跡地の車中避難場所整備の進捗状況は。</p> <p>(5) 空き巣事件が多発しているが本市としての対応策は。</p> <p>(6) 亀岡市の自治会加入率は。</p> <p>まちの未来そのものである次代を担う子どもたちが常に将来の生活に夢と希望を持ち、社会の中で果たすべき自己の役割を認識し、自立した生活を主体的に求めていく意識を養う必要がある。</p> <p>(1) 志教育プロジェクト世界記録達成記念セレモニーや東輝中学校生徒による「志」発表会等行ったが、今後の志教育の取組内容は。</p> <p>(2) 各地域には揺るぎない信念と志をもって活動されている方が多数おられるが、そのような団体や個人を授業の外部講師として招いては。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>教育長 所管部長</p>
13	<p>山木 裕也 6月21日(水) 10:45~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 既存集落まちづくり区域指定制度について</p>	<p>現在、市街化調整区域内の既存集落では、市街化区域の市街地に比べて人口減少が進行しており、地域活力や地域コミュニティの衰退が懸念されている。そこで本市の考えを問う。</p> <p>(1) 既存集落まちづくり区域指定制度の活用状況は。</p> <p>(2) 当制度を活用し、指定用途の建築物を建築した場合に、上下水道以外のインフラ整備や道路側溝の整備などが個人負担になる事例があると聞かすが、市の補助制度はないのか。</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>2 森林整備について</p> <p>3 地域交通について</p> <p>4 育親学園の開校に関わる課題について</p>	<p>(3) 今後の指定区域の展開は。</p> <p>本市は周囲を山々に囲まれた盆地状の地形で、市域の7割が山林である。財産区を含む森林整備は最重要課題であり、本市の考えを問う。</p> <p>(1) 現在の森林整備状況は。</p> <p>(2) 平成29年や30年の台風による倒木箇所はどうなっているのか。</p> <p>(3) 林道の整備状況は。</p> <p>(4) 樹木の種類の把握は。</p> <p>(5) 牛松山パーティカルレースなど、林道を活用したレースイベントへの支援策はないのか。</p> <p>(6) 森林を活用したフィールドアスレチックや、地形を活用した大人もトレーニングができるフィールドトレーニング施設を設置してはどうか。</p> <p>(7) 外国人が所有する森林はあるのか。</p> <p>コミュニティバスなどの公共交通について問う。</p> <p>(1) 亀岡市地域公共交通網形成計画の進捗状況は。</p> <p>(2) 西つつじヶ丘における、コミュニティバスの東コースの延伸計画は。</p> <p>(3) 今後、増えることが予想される観光客に、さらに亀岡を回遊してもらうためにも、二次交通を拡充する計画はないのか。</p> <p>令和6年度開校予定の育親学園について問う。</p> <p>(1) 校区が広大になることから、保護者から通学への不安の声が上がっている。徒歩通学の基準とバス通学の基準は。</p> <p>(2) 通学バスを拡充する為に、既存路線バスとの調整が図れないか。</p> <p>(3) 登下校時における通学路の安全計画はあるのか。</p> <p>(4) 前期課程の水泳学習のため、プールを設置する計画は。</p> <p>(5) 育親学園でのかめおか児童クラブの設置計画は。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 教育長 所管部長</p>
14	<p>大塚 建彦 6月21日(水) 13:00~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 民間保育園の諸課題について</p>	<p>桂川市長が子どもファーストを宣言されたことで、亀岡市の子育て環境は大きく向上しており、亀岡市への移住・定住を望まれる働く世代や子育て世代の方が増えている。また、第2子以降の保育料を全て無料化したことにより、子育て世帯の就労環境の向上が期待できる。一方で、園児の増加や早朝保育・延長保育が増えると想定される中、保育士不足等が深刻な課題となっている。</p> <p>(1) 亀岡市内にある民間保育園・幼稚園等の施設数と令和5年度の園児数は。</p> <p>(2) S I D S (乳幼児突然死症候群) について、</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>どのような対策を行っているのか。</p> <p>(3) 0歳児保育を実施している保育園数は。</p> <p>(4) 全国における、令和4年度の保育士の平均賃金と全産業における平均賃金の差はどうか。</p> <p>(5) 亀岡市では、保育士の処遇改善に取り組んでいるが、所得はどの程度上昇したのか。</p> <p>(6) 加配の対象となる園児数と職員体制の状況はどうか。</p> <p>(7) 保育士資格を有しない非正規職員に対する助成制度の内容は。</p> <p>(8) 自然災害等で、保護者が園児の迎えに来ることができない場合、緊急避難的に宿泊できる場所を確保することはできないのか。</p>		
	2 サンガスタジアムにおける就労支援事業について	<p>令和4年11月18日、Jリーグにおける障がい者就労体験プロジェクトの立ち上げに数多く参加してこられたNPO法人ピープルデザイン研究所の田中真宏ディレクターが市長と面談され、サンガスタジアムにおける就労支援の目的や意義について懇談された。</p> <p>(1) 就労の前段として試行的に行う事業から、対価を伴う正式な業務として位置づけていくとあるが、具体的な内容は。</p> <p>(2) これまで対象となっていた作業所等以外の施設や支援学校などから希望があった場合、本事業に参加するためには、どのようなことを調整する必要があるのか。</p>	市長 副市長 所管部長	
	3 家庭ごみの分別区分拡大による効果について	<p>将来世代に負担をかけない、循環型社会の実現に向けた第一歩として、去る4月1日から新たな家庭ごみの分別区分拡大が実施され、2か月が経過した。亀岡市は、平成30年3月にごみの減量化・資源化に向けた取組や処理方法等を定めた亀岡市ゼロエミッション計画を策定し、計画策定から5年が経過したことに伴い、より一層の資源化や脱炭素化を進めることを目的として、ごみの分別区分を拡大した。</p> <p>(1) 分別区分拡大による効果と検証結果は。</p> <p>(2) 埋立てごみの中から資源化できるものを取り出す中間処理事業の実績は。</p> <p>(3) 新しく始まった草・木類の回収状況と、木(剪定枝等)の堆肥化の進捗状況は。</p> <p>(4) 自治会等が行う資源ごみ集団回収報奨金制度の報奨金を増額する考えは。</p>	市長 所管部長	
15	<p>三上 泉 6月21日(水) 13:45~</p> <p>※一問一答</p>	1 市長の政治姿勢について	<p>「子どもファースト」は、“子ども”と“子育てを頑張る人”を本気で応援する宣言である。子育てを頑張る人への支援施策としては大きく前進したと一定の評価をするものである。一方で、子どもの応援という観点から、施策をみることも必要であると思う。子どもファーストの環境とは、家庭においては、親子がゆっくりと過ごす時</p>	市長

		<p>間が取れることであり、学校においては、担当する先生そのものが大事な環境だといえる。また、「子どもファースト」の施策で所得制限を設けないことは歓迎するところであるが、子どもの人数による差は依然としてある。子1人で精いっぱいでもとても苦しいという世帯は多い。さらには、経済的に困窮する世帯への支援としての就学援助は所得制限をどこかで設けなければならず、本当に苦しい家計の世帯の中では、その僅かな差で明暗が分かれるということも少なくない。</p> <p>(1) 「子どもファースト」に係る施策の推進と今後の見通しについて、以下の点について問う。</p> <p>① 「子どもファースト」の施策について、実施とともに、子どもの視点からの検証とさらなる充実を検討する必要があると考えるが市長はどのように考えるか。</p> <p>② 亀岡市子どもの権利条例に基づき、子どもの意見や願いをしっかりと受け止めて施策に生かす必要があると考える。市長は、子どもの意見表明の場を今後どのように持つべきと考えているか。</p> <p>③ イクボス宣言もされているが、市職員、教職員の時間外勤務の抜本的な縮減と、それに見合う人員確保を行うべきである。「子どもファースト」の施策に伴い、人員が足りない上に業務が増えて、超過勤務で疲弊の声が上がっていると聞かすが、保育、幼児教育、義務教育において、市内で先生が足りていない現状と業務過多の状況について、実態認識と改善策は。</p> <p>④ 僅かな収入の増減で就学援助が受けられる境界線上では落差が激しい。全体の所得制限の敷居を下げることに同時に、激変緩和措置を行うことができないか。</p> <p>⑤ 就学援助の対象に部活動費を入れたり、課外活動費用を引き上げたりするなどの措置をぜひ検討すべきと考えるが所見は。</p> <p>⑥ 木育ひろば「KIRI no KO」がオープンし、平日無料券が配布されているが、土日祝日は利用できない。平日に子育てに専念できる家庭にはありがたいが、休みの日しか行けない共働き世帯との差を埋める方法はないか。</p> <p>子育て世代への支援が進む一方で、高齢者のところでは「暮らしが大変」の声と「取り残されている感」が広がっている。令和5年3月議会の私の質問において、市長も「取り残されている感」はあると認識している旨の答弁があった。</p> <p>(2) 「取り残されている感」をもって困窮する高齢者への支援策の必要性について問う。</p> <p>① そのような支援策の必要性を感じないか。</p> <p>② 高齢者を支援する新たな施策について考え</p>	
--	--	--	--

		<p>2 犯罪被害者等支援条例について</p>	<p>ていることはないか。</p> <p>③以前あったような水道料金の基本料金への補助や、基本水量の見直しをすべきではないか。</p> <p>亀岡市は平成24年4月に亀岡市犯罪被害者等支援条例が施行されたが、理念条例の域を出ておらず、具体的な支援の内容としては、相談窓口の設置と遺族見舞金、傷害見舞金の支給のみである。明石市においては、より当事者の視点に立ったきめ細かい施策を実施するため、4回の条例改正を行い、具体的な支援制度を示した4つの規則と基金条例も整備して、きめ細かい具体的な支援策を講じている。</p> <p>(1) 一般的には、犯罪による被害者は、身体的、精神的、経済的なダメージを受けているにもかかわらず、実名報道やプライバシーが明かされるなどの二次的な苦痛を強いられ、訴訟や社会復帰にも費用がかかり、結果として泣き寝入りせざるを得ない状況があるが、これらに対する所見は。</p> <p>(2) 平成30年6月議会一般質問において、このテーマで質問した際、市長は「本市で最も重視しているのは、犯罪被害者等に親身に寄り添う姿勢」だとして、相談窓口の設置とスムーズな対応、「社会の中で孤立することのないように市民への啓発」を進めるとして、「明石市まで進んだ形にはまだ検討が必要だ」と答弁された。その後、どのような検討がされているのか。</p> <p>(3) 令和3年6月議会一般質問における木曾利廣議員の質問に、市長は「一度、明石市がどの範囲までやっているか、犯罪被害といても多様な状況だということですので、亀岡市でも一度検討してまいりたいと思います」と答弁された。その際はどのような検討をされたのか。</p> <p>(4) その後も明石市は4回目の条例改正を行っている。理念条例から、具体的施策を列挙する条例に改正すべきと考えるが、市長の考えは。</p>	<p>市長 所管部長</p>
		<p>3 市道中矢田篠線の交通安全対策について</p>	<p>市道中矢田篠線は全線開通から7年が経過した。安全対策、騒音振動対策など、地元住民の要望も踏まえてなされてきたと思うが、近年、交通量が増え、大型車も多く通るようになり、怖くて横断しづらいという声をよく聞く。</p> <p>(1) 定期的な交通量調査を継続してされているのであれば、交通量の推移を明らかにされたいがどうか。</p> <p>(2) 通学路となっており、小中学生の横断や、素早く移動できない高齢者の横断については心配な面があるが、地元自治会からの要望</p>	<p>市長 所管部長</p>

			等があればそれも踏まえて、市として交通安全上の課題やその対応策についてどのように考えているか。	
16	山本由美子 6月21日(水) 14:45~ ※一問一答	1 がん対策について	<p>がんは1981年以降、日本人の死因の第1位であり、2021年には年間約38万人と、全死亡者のうち約3人に1人ががんで亡くなっている。また生涯のうちに約2人に1人が罹患すると推計されており、がん対策を推進することが重要である。</p> <p>(1) 20歳の子宮頸がん検診、40歳の乳がん検診の無料クーポンの利用率は。</p> <p>(2) 個別受診勧奨と再勧奨(コール・リコール)の実施状況と効果は。</p> <p>(3) 本市における受診率向上策は。</p> <p>(4) HPVワクチン定期接種対象者(キャッチアップ接種対象者を含む)への情報提供と接種状況は。</p> <p>(5) 医療用ウィッグや乳房補正具の購入補助を行う、アピアランスケア支援事業を実施する考えは。</p> <p>(6) 20歳以上から40歳未満のターミナルがん患者の方への在宅療養支援の必要性について、見解は。</p> <p>(7) 若年がん患者在宅療養支援事業を導入する考えは。</p> <p>(8) 京都府の事業である「生命のがん教育」推進プロジェクト事業を含む、がん教育の実施状況は。</p>	市長 教育長 所管部長
		2 プレコンセプションケアについて	<p>プレコンセプションケアは妊娠計画の有無にかかわらず、若い世代の方が将来のライフプランを考え、日々の生活や健康と向き合うことにより、次世代を担う子どもの健康にもつながるものとして近年注目されている。</p> <p>(1) プレコンセプションケアについての認識は。</p> <p>(2) 本市の取組状況は。</p> <p>(3) プレコンセプションケアという考え方や相談窓口などの周知及び普及啓発について、見解は。</p> <p>(4) こども家庭庁のホームページに「スマート保健相談室」が開設されており、全国の相談窓口の紹介や正しい知識のQ&Aなど、さまざまな情報が発信されている。このサイトを広く周知するため、市のホームページやSNSによる情報発信を行うとともに、ポスターの掲示や二次元バーコード付きのカードを配布してはどうか。</p> <p>(5) 学校教育の中で、プレコンセプションケアを含む、性と健康に関する教育の現状と今後の取組は。</p>	市長 教育長 所管部長
		3 熱中症対策	気候変動の影響により、国内の熱中症による死	市長

		の推進について	<p>亡者数は増加傾向にあり、近年では年間千人を超える年が頻発している。政府は去る5月30日、2030年までに熱中症による死者数を現状から半減させることを目標に掲げた「熱中症対策実行計画」を閣議決定した。熱中症発生の予防を強化するための取組が重要である。</p> <p>(1)本市における、熱中症による救急搬送、死亡者数の推移は。</p> <p>(2)熱中症対応マニュアルなどの作成や暑さ指数(WBGT)の認知度向上、行動変容につながる情報発信が必要と考えるが、見解は。</p> <p>(3)「熱中症対策アドバイザー養成講座」を実施する考えは。</p> <p>(4)公共施設や協力店舗などを一時的な休憩施設クールシェルター(涼み処)として開設する取組について、現状と今後の考えは。</p> <p>(5)高齢者への適切なエアコン利用の周知徹底やエアコンの点検・整備の普及啓発も必要と考えるが、見解は。</p> <p>(6)高齢者の熱中症を予防するため、福祉関連団体などと連携し、どのような取組を進めているのか。</p> <p>(7)市内における横断的連絡体制の整備が求められているが、現状はどうか。</p>	所管部長
17	<p>小川 克己 6月21日(水) 15:30~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 市営自転車等駐車場の精算機について</p> <p>2 亀岡市立病院について</p> <p>3 かめおか児童クラブについて</p>	<p>新500円硬貨は2021年11月1日に発行された。また、2024年度の上半期をめどに新紙幣が発行される予定であるが、市営自転車等駐車場の精算機の状況について問う。</p> <p>(1)精算機の設置状況と課題は。</p> <p>(2)新紙幣・新硬貨対応と電子決済機能を備えた機器更新の考えは。</p> <p>本年度4月1日から、長年市立病院の健全経営に尽力いただいた玉井管理者に代わり、市立病院開設以来尽力をいただいていた田中医師が管理者に就任された。</p> <p>(1)新中期計画も踏まえた管理者の抱負は。</p> <p>亀岡市放課後児童会は「かめおか児童クラブ」と令和5年度から名称を変更した。課題について問う。</p> <p>(1)教室不足により、子ども一人につき1.65平方メートルの面積が確保できていないクラブは。</p> <p>(2)教室不足は、学校教育課と社会教育課の間で調整できないのか。</p> <p>(3)千代川小学校の児童が利用するかめおか児童クラブの教室について問う。</p> <p>①新御殿門の耐震性は。</p> <p>②亀岡警察待機宿舎を借用し運営しているが、将来的に除却との話を聞く。一部払下げを受けて施設整備をしてはどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>病院事業管理者</p> <p>市長 教育長 所管部長</p>

		<p>4 新資料館構 想について</p> <p>5 防災減災に ついて</p>	<p>(4) 亀岡警察待機宿舎の関連として、除却後も地域の安全を担保するとともに、居住者増によるぎわいの創出のため、待機宿舎を新設し、現在の地に残してほしいところであり、市から警察に要望していただきたいが所見は。</p> <p>この6月議会で新資料館整備に向けた基本構想策定等に関する経費が計上された。</p> <p>(1) 経費の内容は。</p> <p>(2) 資料の保存、学びの場、文化や近代芸術を魅せ、市民に親しまれる施設として整備を望むものであり、基本構想策定にあたり、学芸員などの専門家の意見を踏まえつつ、生涯学習部局と観光部局との連携が必要と思うが所見は。</p> <p>台風第2号による梅雨前線の活発化により線状降水帯が発生し、本市においては大きな被害はなかったが、西日本から東日本の太平洋側を中心に大雨となり被害がでた。また、先月5月から震度5を超える地震が各地で頻発していることから、今後本市においても土砂崩れなどによる被害が危惧される。</p> <p>(1) 土砂災害特別警戒区域レッドゾーンの状況と課題解決に向けての対策は。</p> <p>(2) 緊急時の情報伝達方法と、同報系無線活用の現状は。</p> <p>(3) デジタル移動系無線を使った通信訓練は出来ているのか。</p>	<p>市長 教育長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
18	<p>原野実生子 6月22日(木) 10:00~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 産後相談・ ケア事業につ いて</p> <p>2 男性向け た産後支援事 業について</p>	<p>少子化問題が深刻になる中、核家族化や共働き世帯の増加といった時代の流れの中で子育てに奮闘する世代を支えるためにも、本市の考えを問う。</p> <p>(1) 産後相談・ケア事業の内容は。</p> <p>(2) 本事業の周知方法は。</p> <p>(3) 本事業の利用実績は。</p> <p>(4) 本事業の利用促進に向けた具体的な施策は。</p> <p>(5) 本事業の内容が分かりにくいと市民から聞いたが、詳細について分かりやすく広報する考えは。</p> <p>男性女性の役割等の壁はなくなり、家事や育児に両者が参加することが当たり前の時代になってきた。子どもファースト宣言をしている本市の育児支援について問う。</p> <p>(1) イクボス宣言の内容は。</p> <p>(2) 職員(男女別)の育児休業の取得率は。</p> <p>(3) 職員が育児休業を取りやすくするための職場理解はどのようにされているか。</p> <p>(4) 本市における男性の産後鬱への支援策は。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		3 休日診療について	<p>子育て世代にとっても休日診療が本市にあることは安心である。この休日診療の在り方について問う。</p> <p>(1) 内科と小児科の医師の在籍数は。</p> <p>(2) 休日診療の周知方法は。</p>	市長 所管部長
19	<p>齊藤 一義 6月22日(木) 10:45~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 庁舎内業務効率化について</p> <p>2 コンベンションビューローの推進について</p> <p>3 ほ場整備事業の効果について</p> <p>4 環境公害について</p> <p>5 特殊詐欺防</p>	<p>広報かめおか令和5年4月号に「社会で進むデジタル化」とあり、行政サービスのデジタル化が進んでいる一方で、庁舎内では起案文書の回付や郵便物等の受け取りのためにエレベーターで6階へ行く職員をよく見受ける。庁舎内のデジタル化を進める必要があると考える。</p> <p>(1) 起案文書の回付や押印を受けるため6階などへ日参するのではなく、デジタル化で極力省力化できないか。</p> <p>(2) 郵便物等を6階の総務課へ受け取りに行く労力と経費の軽減策を考えてはどうか。</p> <p>本市には新たなビジネスホテルが2棟完成し、ギャラリーかめおかの平日稼働率アップに向けたコンベンションビューローの環境が整ったと考える。</p> <p>(1) コンベンションビューローの一環として、例えば、環境先進都市としてエコ・グリーンシティの学術会議、プロギング大会の開催、または梅岩記念館を中心に日本が誇る石門心学の道德観などに関して、本市に国内外から集まる国際的な学術会議などを立ち上げるなど、人が集まる仕掛けをしてはどうか。</p> <p>国営緊急農地再編整備事業亀岡中部地区曾我部工区に幹線農道が整備されたが、既存橋梁が農道より狭小であるため、大型農機具等が通行できない事態となっており、事業効果が発揮できていない。</p> <p>(1) 府道東掛小林線の寺区松尾から中区への葉婦川に架かる橋梁の架け替え予定はいつか。</p> <p>(2) 府道東掛小林線の寺区から中区への進入路に架かる梅田橋の架け替え計画は。</p> <p>(3) 市道春日部法貴線の中区に架かる中北橋とほ場整備で新設された幹線農道を結ぶ道路接続はいつになるのか。</p> <p>亀岡運動公園芝生広場西側、曾我部町穴太太塚にある亀岡市都市緑花協会敷地において、剪定枝等を堆肥化されているのはすばらしい取組であり応援したいが、発酵することで周囲に悪臭が立ち込めていると近隣住民から苦情を聞く。</p> <p>(1) 現在ある堆肥化場所をほかの場所に変更できないか。</p> <p>特殊詐欺はニュースや市の広報などでも繰り返</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長</p>

		止について	<p>返し注意喚起を行っているが、増加傾向にある。被害削減に一層取り組み、安全・安心な地域づくりが必要と考える。</p> <p>(1)本市の被害状況は。</p> <p>(2)特殊詐欺の被害者側の通信手段は固定電話が全体の9割以上と最も多いが、特殊詐欺を防止するための対策として、通話録音装置の無償貸し出しを最大限に啓発すべきではないのか。</p>	所管部長
		6 子どもの学び支援について	<p>近年、児童生徒の不登校やひきこもりが問題になっており、それぞれ経済的な問題や家庭環境が要因ではないかと考えられ、解決しなければならない社会課題である。</p> <p>(1)小中学校における現在の不登校児童生徒数は。</p> <p>子どもたちの成長のためにはアート教育が有効であるという研究結果がある。</p> <p>(2)アートを使った授業プログラムやサービスの提供を通じて、子どもたちの成長を支援する教育を多く取り入れてはどうか。</p> <p>将来日本国内のマーケットが縮小することは明確であり、我が国の経済成長には韓国のように市場を海外に展開しなければならないが、子どもが世界に羽ばたける明るい未来のためには、幼児期から英語を聞き慣れることが不可欠と考える。</p> <p>(3)幼児期の教育や低学年の教育から、例えば「CD付くまのプーさんと学ぶ小学英语」などの英語教材を取り入れてはどうか。</p> <p>(4)図書館ガレリア分館を子ども図書館として改装されるにあたり、図書館改装の第一人者である「赤木かん子」氏の手法を研究されてはどうか。</p>	教育長 所管部長
20	大石 慶明 6月22日(木) 13:00~ ※一問一答	1 観光事業の推進について	<p>亀岡市の交流人口増加施策の一環として観光事業のさらなる活性化は不可欠だと考えている。そこで三大観光の一つである湯の花温泉について問う。</p> <p>(1)過去において「湯の花温泉“ゆあみのさと”」構想があり、整備計画が検討されてきたと聞いている。</p> <p>①“ゆあみのさと”構想における整備計画の内容は。</p> <p>②現在において本構想に基づいた整備が実現できていないと思われるが、その主な要因は。</p> <p>③今後において“ゆあみのさと”構想について再度取り組む考えは。</p> <p>(2)市民及び近隣地域の観光客等に気軽に訪れてもらうための施設(足湯、外湯等)を整備してはどうかと考えるが見解は。</p> <p>(3)地域と一体となった観光事業の推進が、観光メニュー多様化、事業の拡大・継続につな</p>	市長 所管部長

		<p>がると考えるが見解は。</p> <p>(4) 過去において湯の花温泉の「芦ノ山荘」裏山地域で観光事業に向け資本投下された形跡があるが、これらの形跡を再利用して振興施策に取り組む考えは。</p>	
	2 マイナンバーカードの不具合対策について	<p>マイナンバーカードの普及拡大に向け「マイナポイント」の付与等の施策が実施されてきたところであるが、不具合が多発している状況である。</p> <p>(1) 本市のマイナンバーカードの普及状況は。</p> <p>(2) マイナンバーと公金受取口座をひも付ける際、本人以外の家族の口座を登録したとみられる事例が全国で約13万件、他人の口座を登録した事例も748件確認されているが、本市でそのような事例は発生しているのか。</p> <p>(3) マイナポイントを別人に付与していた事例が全国で97自治体121件発生しているが、本市でそのような事例は発生しているのか。</p> <p>(4) 本市において証明書コンビニ交付サービスを導入しているコンビニの割合は。</p> <p>(5) 本市におけるコンビニ交付サービスのトラブル発生状況は。</p> <p>(6) 現時点で本市においてマイナ保険証が使える医療機関数は。</p> <p>(7) マイナ保険証に他人の情報をひも付ける事例が全国で約7,300件発生しているが、本市でそのような事例は発生しているのか。</p> <p>(8) マイナンバーカードの不具合による相談窓口体制はできているのか。</p> <p>(9) 去る6月2日にマイナンバー法等の一部改正法案が国会で可決され、来年秋には現行の健康保険証を廃止してマイナンバーカードに一本化されることとなる。これに向けて今後の対応をどのように考えているのか。</p>	市長 所管部長
	3 特定空家対策について	<p>移住促進に向け空き家バンクの登録、移住促進特別区域内での各種支援事業等を実施されているところであるが、反面、空き家の放置により家屋の倒壊、害獣のすみか、不審者の侵入、放火等の恐れがあり、地域環境及び防犯・防災の面においても対策が必要と考えている。</p> <p>(1) 本市で特定空家件数がどのくらいあるか把握できているか。</p> <p>(2) 特定空家についての相談、苦情の状況は。</p> <p>(3) 特定空家のうち、所有者等の把握ができている件数は。</p> <p>(4) その所有者に対して、どのような呼びかけをしているのか。</p> <p>(5) 今後における特定空家の減少に向けての考えは。</p>	市長 所管部長
21	木村 勲	1 国道9号の	<p>国道9号は亀岡市民にとっては京都市内への</p> <p>市長</p>

<p>6月22日(木) 13:45～</p> <p>※一問一答</p>	<p>整備状況について</p> <p>2 通学路の安全について</p> <p>3 国営緊急農地再編整備事業「亀岡中部地区」桂川西工区等に関連する水害対策について</p> <p>4 亀岡の三大観光保津川下りの支援について</p>	<p>重要な生活道路であるが、大雨や大雪により通行止めとなれば、亀岡以北は陸の孤島となる。災害に強いまちづくりへの早急な対策が必要である。また、一桁国道でありながら片側1車線の道路は日常的に渋滞しており、歩道がない箇所も散見されるが、それらの対策について問う。</p> <p>(1)今年1月の大雪の際にも国道9号が通行止めになったが、ダブルルート構想の進捗と今後の対策は。</p> <p>(2)市内全体を見た国道9号の渋滞緩和対策は。</p> <p>(3)大井町の若宮橋には両側に3メートルの歩道が建設されたが、国道9号と府道郷ノ口余部線との交差点及びこの交差点から余部交差点までの歩道はところどころ整備されておらず、歩行者や自転車は車両と接近して危険な状況があるが整備予定は。</p> <p>2012年の篠町の集団登校事故から10年が経過した。市内各地で交通安全対策がされてきたが、まだまだ十分でない通学路もある。今後の対策について問う。</p> <p>(1)市内のスクールゾーンの設置箇所数と設置の規定は。</p> <p>(2)府道と市道の交通規制の違いは。</p> <p>(3)交通事故や不審者等の事件を検証するための防犯カメラの設置数と設置条件は。また、今後の設置予定は。</p> <p>本年度より、国営緊急農地再編整備事業「亀岡中部地区」桂川西工区が着手されており、当該事業等に関連して、近年の想定外の豪雨等を踏まえた水害対策について問う。</p> <p>(1)高野林・小林土地区画整理事業地内における調整池の保水容量が増加されたが、どの程度の増量なのか。</p> <p>(2)国営緊急農地再編整備事業「亀岡中部地区」桂川西工区の幹線排水路が準用河川願成寺川に接続され、その後犬飼川へと合流するが、付近一帯の雨水排水整備は十分なのか。</p> <p>(3)願成寺川と犬飼川との合流地点における形状改修の予定は。</p> <p>(4)寅天堰から千代川町を流れる用水路は、豪雨の際に千々川へ流れるようにゲートが設置されている。これまでに作動した記録はあるのか。</p> <p>本年3月28日、保津川で保津川下りの船が座礁し転覆した。乗客25人と船頭2人は救出されたが、船頭2人が亡くなる痛ましい事故であった。亡くなられた船頭に娘さんを助けられたお母さんが、保津川下りはなくならないでほしいと言われた記事もあり、長い歴史があつて、英国大使</p>	<p>所管部長</p> <p>市長 教育長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
---	---	---	--

		<p>5 第72回亀岡平和祭保津川市民花火大会について</p>	<p>が乗船されるなど、国内外にも知られる保津川下りへの本市の支援について問う。</p> <p>(1) 本議会に補正予算が提案されている安全対策と船頭への雇用対策2,500万円の内容とその財源は。</p> <p>(2) 安全対策及び雇用対策は十分なのか。ほかに支援施策は検討されているのか。</p> <p>(3) 保津川下り再開へ向けての見通しは。</p> <p>本年6月7日の京都新聞朝刊に、今年の亀岡平和祭保津川市民花火大会が8月11日金曜日の祝日に決定し、8,000発から1万発の花火に増やして音楽も取り入れた演出と掲載されていたが、詳細な内容について問う。</p> <p>(1) 本年度の花火大会の予算と開催概要について、昨年度との違いは。</p> <p>(2) 亀岡市民、特に子どもたちへの料金や優待等のサービス施策は。</p> <p>(3) 昨年度の教訓を生かした警備体制は。</p>	<p>市長 所管部長</p>
22	<p>小林 仁 6月22日(木) 14:45~</p> <p>※一括</p>	<p>1 教員の労働環境の改善について</p> <p>2 中学校給食について</p>	<p>公立学校の教員不足が深刻化する中で、教員の時間外勤務が「定額働かせ放題」とやゆされている。教育現場における教員の労働環境が改善されない、優秀な人材が確保できない。本市の教育環境は魅力ある職場であってほしい。その取組について問う。</p> <p>(1) 文部科学省が「令和4年度教育委員会における学校の働き方改革のための取組状況調査結果」を発表したが、本市における教員の時間外勤務状況は。</p> <p>(2) 時間外勤務が多いと言われる要因についてどのように考えているか。</p> <p>(3) 授業で使用するタブレット端末を1人1台配備する環境が整ってきたが、校務などICT化すれば効率化するとされている事項についての考えと進捗は。</p> <p>(4) 必ずしも教員が担う必要がないとされる部活動の指導や校内清掃等の業務について、部活動指導員や地域ボランティアへ委託することについての所見は。</p> <p>(5) 「教員の仕事だが、軽減することができる」事項をまとめ、教員の負担軽減対策について検討するための機会はあるのか。</p> <p>(6) 育親学園で探究型学習の「ふるさと科」を創設するとのことであるが、小中学校の教員はほかの校務に時間がかかり、探究型学習の課題研究のために時間を確保することが難しいと聞く。教員が探究型学習の課題研究に時間を費やすことができる取組を考えているのか。</p> <p>育親学園は自校方式給食となったが、本市全体の公立学校の給食をどのように改善していくの</p>	<p>市長 教育長 所管部長</p> <p>市長 教育長</p>

		<p>かを示す必要がある。</p> <p>(1) 育親学園では自校方式となるが、本市内にはデリバリー方式や家庭からの弁当持参もあることから、その格差は不平不満の原因となる。家庭の負担を和らげるためにも、センター方式や自校方式、親子方式を併用する考えはあるのか。</p> <p>(2) 中学校給食におけるデリバリー弁当の喫食率は全国的にも低下傾向にある。その原因を「冷めたおかず」とする意見が多いが、おいしいものは冷めてもおいしく、温かいとなおおいしいと考える。おいしく栄養価の高い給食を考えると、食材へのこだわりが必要であるが、旬の食材はおいしく栄養価も高いと聞く。食育のためにも、旬の地元食材をできるだけ多く調達してはどうか。</p>	所管部長
	3 有害鳥獣防除柵設置事業について	<p>鹿やイノシシ等の有害鳥獣がこれまで現れなかった場所にまで現れるようになり、農作物への被害が増加している。地域ぐるみで山裾に防除柵を設置し、それでも侵入する場合は個人農家や農家組合などが共同で対処しているが、どれだけ設置してもいたちごっこである。農作物価格の低下と農業資材が高騰する中で、有害鳥獣防除柵設置事業の充実を願うものである。</p> <p>(1) 本事業における過去3年の実績額は。</p> <p>(2) 本事業の対象要件として、受益戸数が3戸以上、前年度に農作物被害があった耕作地であることなどハードルが高い状況である。交付金の対象となる資材費の交付金額は被害額以内とされているが、その被害額の算出根拠は。</p> <p>(3) 耕作者は被害に遭わないように未然防止を期待するものである。農家組合などが計画的に防除事業を申請するなど、被害を未然に防ぐ事業内容にできないのか。</p>	市長 所管部長
	4 農作業の省力化と田園の景観整備について	<p>スマート農業などの展開により農作業の省力化が進む一方で、特に夏場のほ場におけるのり面の草刈りは老若男女問わず厳しいものがある。リモコン草刈機なども登場しているが、年に数回ある草刈から少しでも脱却しなければならない。</p> <p>(1) 草刈りの回数を減らして農作業の省力化を図る施策として、ほ場のり面に「芝桜」を植栽する支援や助成をしてはどうか。</p> <p>(2) 全国都市緑化フェア in 京都丹波（仮称）が目指す「地域住民が地域の素晴らしさを再発見し、次の世代が住み続けたい地域社会の実現」や、亀岡まるごとガーデン・ミュージアム構想のテーマである「小盆地宇宙で織りなす、豊かな自然と文化のつながりづくり」の実現に向けた施策として、過疎化が進行する農村部も参加してほ場のり面に「芝</p>	市長 所轄部長

		<p>3 道路行政について</p>	<p>(4) 市内各地で取り組もうとされている地域主体型交通について、それぞれの特色や情勢を踏まえて、どのような手法を選ぶかなどの、適切な指導、助言は誰がするのか。</p> <p>(5) 地域主体型交通を含めた、総合的な見地に立った計画の策定は、誰がするのか。</p> <p>市域全域で、市道延長は550キロメートルに近いと聞く。この管理について問う。</p> <p>(1) 市域全般の道路管理について、舗装や白線その他の安全施設などの補修は、通学路危険箇所や緊急性のあるところを優先することになっているが、現実には、それさえも間に合っていないのではないか。</p> <p>(2) 橋梁の補修や、点検について、今すぐに対応しなければ安全が担保できない箇所はあるのか。</p> <p>(3) ほぼ毎議会、市道認定について議案が提出され、議会もこれを認めてきているが、実際、どの程度までなら管理できると考えているのか。</p> <p>(4) 新設道路の街路樹について、今後、道路は道路施設としての機能だけで十分ではないか。所見は。</p> <p>(5) 道路新設についての交付金は、比較的充当されているように思うが、保守管理については十分ではないと聞いている。今後を見据えて所見は。</p>	<p>市長 所管部長</p>
--	--	-------------------	---	--------------------